

令和5年(2023年)4月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2023年4月 数量 (トン)	2023年4月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	神奈川県産・千葉県産中心の入荷でした。天候にも恵まれ、正品率も高かった。数量は大幅に増加し、平均単価も増加しました。	572	117	150%	113%
2		キャベツ	神奈川県産、愛知県産中心の入荷でした。数量は減少し、平均単価はやや減少しました。	990	106	87%	95%
3		トマト	朝晩の冷え込みで出荷少なめとなり数量はかなり減少し、平均単価は高く推移しました。	300	404	76%	112%
4		レタス	数量は、やや減少し単価はやや増加となりました。	365	176	95%	104%
5		馬鈴薯	鹿児島県内の長雨続きにより、収穫が進まず数量はかなり減少しました。平均単価は安く推移しました。	264	237	77%	90%
6	果実	その他柑橘	数量は、やや増加し単価はやや低く推移しました。	362	327	104%	97%
7		りんご	数量はかなり増加しました。平均単価は高く推移しました。	275	330	141%	89%
8		いちご	主要産地は佐賀県産・九州産でした。数量はやや増加しましたが、品質が安定せず平均単価は前年並みとなりました。	175	1,172	105%	99%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上